

野口 典子 ゼミ

教員の研究関心領域

私の研究テーマは、高齢者福祉問題を中心としつつ、福祉政策と実践が有機的に連携していく方法論の開発に関して取り組んでいます。その具体例として、認知症高齢者と家族を地域の中で支援するプログラム開発や一人暮らしや高齢者のみの世帯、や高齢夫婦などに対する社会政策と実践に関して、自治体や各種専門組織、専門職や住民の方と一緒に取り組んでいます。また、そのことを実現するには「人材の確保・養成」も不可欠です。どのようにすれば福祉人材を現場に定着させることができるのか、その労働条件、職務条件、仕事の仕方などから検討しています。2011年度からは「東日本大震災」の課題にどう向き合い、行動するかについて考えてきました。そうしたなかから災害ソーシャルワークというテーマに直面し、被災地

4年までのテーマ・方針・内容

1. 3年間のゼミの中で自分の「研究テーマ」を持ちながら、継続してそのテーマを追いかけるという姿勢を持っていただきたいと思います。
2. それには準備が必要です。2年次では、研究を遂行していくための基礎力を養います。
3. 3年次では、暫定的な研究テーマの設定のもとに、「調べる」「まとめる」「報告する」を行い、研究のテーマ設定を行なっていきます。グループ学習が中心となります。
4. 3年次後半から4年次において卒業論文を作成します。

卒業論文のタイトル例

「終末期の看取りにおける家族の関わりと専門職の協働に関する理論的研究」
「介護殺人はなぜ起きるのか～家族介護の分析を通して」
「笑顔の子どもを増やすための試論」
「都市型社会における他世代交流の意味～高齢者とこどもの交流事業から」
「都市近郊に発生する『限界集落』の実際に関する研究」
「高齢者犯罪の現状とその意味」
「わが国の犯罪動向と少年事件との比較研究」
「いい子であり続けなければならない社会～なぜ、社会や大人は「いい子」を求めているのか」
「団塊世代問題と今後の社会に与える影響に関する分析」
「家族介護におけるジェンダー問題～なぜ、女性という性に介護負担が課せられるのか」

成績評価 基準・方法

1. ゼミの出席（無断での欠席は認めません）
2. ゼミの中での報告
3. 春学期、秋学期ごとのレポート提出

自己紹介 こんな学生を歓迎

自分が向上することに貪欲であって欲しいと思います。昨日よりは今日という姿勢で、これと思うことに打ち込んで欲しいと思います。ゼミで出会った仲間との関係を大切にすよき仲間になっていって欲しいと思います。私が大切にしているのは「聴く力」であり、周囲の人々との協力です。さらにはつねに「好奇心」を持ち、「勇気」を持って進んでいという意欲です。福祉の現場では、グループでの共同作業が重要です。自分だけというのではなく、周囲との協力・協働が大切です。福祉の現場では1人のスーパーマンではなく、他者との共同が大切になると考えています。しかし、安直な同調ではなく、お互いが切磋琢磨していくなかで、共同を作ってほ

演習Ⅰ テーマ：生活問題・福祉問題を調べ、まとめる。そして報告する。

内容 スケジュール

1. 春学期は自分の関心のもとに収集した文献を読み、読書ノートを作成し、それをもとに、ゼミで報告をし、討議することを繰り返します。
2. 課題図書について小グループでの読み合わせ、レジュメを作成し、報告をします。
3. 秋学期には、研究テーマ【案】の作成を、どのような方法で取り組んでいくかを検討します。

その他

1. 出席重視です（連続して無断欠席の場合は、一定のペナルティを科すことがあります）。

演習Ⅱ テーマ：（仮）研究テーマをもとに、「調べ」「まとめ」「報告」をします。

内容 スケジュール

1. 研究のテーマによっては、フィールド（現場）に出かけ、体験、ヒアリングなどを行ないます。
2. レポートを作成し、ゼミで報告します。
3. 秋学期には30～40枚（400字）程度のレポートを作成します。

その他

1. フィールド（現場）に出かけたりすることを億劫がらないでください。

演習Ⅲ テーマ：各自又はサブゼミにより卒業論文又はゼミ論文を作成します。

内容 スケジュール

1. 各自、サブゼミによって作成されたレポート（ミニ）によって検討会をします。

その他

1. 原則として全員卒業論文を作成します。